

資料から考えてみよう！

ノルマントン号事件



1886年

和歌山県沖



- 乗船していたのは64名

(内訳)

- 英国人船員.....25名
- インド人、中国人船員...14名
- 日本人乗客.....25名





CONFIDENTIAL - NOT TO BE REPRODUCED OR TRANSMITTED IN ANY FORM OR BY ANY MEANS, ELECTRONIC OR MECHANICAL, INCLUDING PHOTOCOPYING, RECORDING, OR BY ANY INFORMATION STORAGE AND RETRIEVAL SYSTEM.

- 助かったのは
- 英国人船員……………25名
- だけが助かり、あとは見殺しにされた。
- この知らせを聞いた日本人は激怒した！
- そして
- 裁判が開かれた！



今の法律を参考にあなたがこの船長を裁いてください！

- 自転車が道路の左側を走らなかった
(懲役3か月)
- 酒によって自転車を運転
(懲役3年)
- 飲酒運転で8人をひき4人死亡
(懲役20年)
- 殺人、死体をかくすため放火
(無期懲役)



ドレイク船長の判決結果

- 無罪となった。
- 日本人はさらに激怒した！
- 再審の結果
- 禁固3ヶ月となった。



なぜこんな結果に？

- 日米修好通商条約

第6条

「日本人に対し法を犯せるアメリカ人はアメリカ領事裁判所にて吟味の上にアメリカの法をもって罰すべし。アメリカ人へ対し法を犯したる日本人は日本役人を糾した上、日本の法をもって罰すべし。」



その他に

- スペリア号事件

コレラの蔓延をふせぐため、コレラ流行地からきたドイツ船スペリア号の検疫をしようとしたが、これを拒否し、そのまま横浜へ入港。

(結果)

10万人がコレラで死亡！



このような条約はいらない！

- 不平等条約を改正しよう！

